

議 事 録

1. 会議の名称	池田市史編纂委員会
2. 開催日時	令和6年8月6日（火） 午後2時00分～午後4時00分
3. 開催場所	市役所 6階 第2会議室
4. 出席者 ※委員長：◎ 副委員長：○	《委員》 小田 康德（◎） 野高 宏之（○） 田中 晋作 松永 和浩 〈事務局職員〉 田渕教育長 小林教育部長 西田生涯学習推進室長 前野社会教育課長 豊田主任学芸員 山本主事
5. 議 題	（1）令和5年度の事業報告について （2）令和6年度の事業予定について （3）歴史的公文書の保存について （4）その他
6. 議事経過	別紙のとおり
7. 開・非公開の別 ※非公開の理由	公開
8. 傍聴者数	0名

開 会

教育長 令和 5 年度の社会教育、特に市史編纂事業では委員による広報誌への記事連載、市役所ロビーでのパネル展、資料保管場所の整備、また歴史公文書についての提案書の提出、市長との対談など。皆様の多大なご理解のもと、ひとつひとつ成果を積み上げてきていると認識している。ぜひ今後とも引き続きより充実した編纂事業になるよう、ご審議いただけたらと考えている。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(1) 令和 5 年度の事業報告について

事務局 2 回の市史編纂委員会の開催。広報誌での連載。その他、大阪自治体史連絡協議会へ参加した。1 月に市役所ロビーで写真パネル展示「池田市史と公文書」を開催。文化財担当や歴史民俗資料館と協力して調査、そのほかにも資料収集・整理などを行った。

委員 市内の文化財の調査は体系的に行われるのが望ましい。

委員 調査等の目標をどこに置くのか。その目標がどこまで達成しているのか、未達成なのであればその理由は何か。分析できているような資料があればと思う。

事務局 状況が分かるように報告できるよう検討したい。

(2) 令和 6 年度の事業予定について

事務局 基本的には令和 5 年のまでの従来と大きく変わりはない。「市史編纂だより」を『広報いけだ』に隔月で連載。資料調査、資料撮影なども令和 5 年度の内容を継続。10 月に公民館との連携企画として委員による講演会を予定している。施設閉鎖に伴う資料収集をすでに 1 件行った。

委員長 「市史編纂だより」が連載を重ねたこともあり、書籍にしては。「市史編纂だより」編纂会議のようなものを委員で開催しては。市民が読みやすく、内容も市民に信頼されるようなものをまとめたい。

委員 方向性を定めてから執筆などを進めるのが望ましいのでは。

委員 「市史編纂だより」紙上ではなくても構わないが、市史編纂担当がどのような調査などを行っているのかを、市民に知ってもらう場を設けることが望ましいのでは。

事務局 どう進めるべきか、先生方とご相談しながら進めていければ。

(3) 歴史的公文書保存について

事務局 先生方に多大なご協力を賜った歴史公文書等に関する提案書を先日市長に提出した。市長からは前向きな回答を得たと考えている。その提出を受け市長と委員長の対談が実現し、『広報いけだ』9 月号「市長のいけだ Diary」にその模様が掲載されている。

委員 提案書の趣旨をよくご理解いただいたと考えている。

(4) そのほか

事務局 資料の保管状況について。分散して資料を保管している上、それぞれの施設の状態も良くないため苦慮している。

委員 一定の基準を設けて収集、整理していくことが望ましい。市内他施設が所蔵してい

るようであれば整理も検討するなど。

委員 データ化しても資料の価値が損なわれないのであれば積極的に行う方がよい。

事務局 ご意見を基に検討したい。

閉 会